学校番号	２０５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書道Ⅱ　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、書道Ⅱでは用具用材の違いによる様々な表現を学びます。
・篆隷草から楷書に至る様々な書体の漢字や様々な表現の仮名や篆刻を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことができるようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を求めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書 篆書	・篆書の代表的な古典の臨書および鑑賞 「大盂鼎」 「石鼓文」	a:【知】篆書を構成する様々な要素、篆書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・篆書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、篆書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。（鑑） 【技】篆書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:篆書の古典に基づく表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・篆書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:主体的に篆書の創造的な表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・主体的に篆書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート
	漢字の書 隷書	・隷書の代表的な古典の臨書および鑑賞 「曹全碑」 「張遷碑」	a:【知】隷書を構成する様々な要素、隷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・隷書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、隷書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。（鑑） 【技】隷書の古典に基づく効果的な表現の技能、隷書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:隷書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・隷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:主体的に隷書の創造的な表現の学	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート

			習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に隷書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）			
	漢字の書 草書	・草書の代表的な古典の臨書および鑑賞 「十七帖」 「真草千字文」	a:【知】草書を構成する様々な要素、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・草書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、草書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。（鑑） 【技】草書の古典に基づく効果的な表現の技能、草書変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:草書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・草書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:主体的に草書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に草書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート
	漢字の書 創作	・縦長の画仙紙半切サイズに七言対句(14 字)を書く （五書体から選ぶ）	a:【知】漢字の書を構成する様々な要素、漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・漢字の書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。（鑑） 【技】漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能、漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:漢字の書の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性豊かな表現について構想し工夫している。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠につい考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：主体的に漢字の書の創造的な表現	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート

			の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）			
2学期	篆刻	朱文で姓名印を刻す	a:【知】篆刻を構成する様々な要素、篆刻の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・篆刻の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、篆刻の特質とその歴史、篆刻の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。（鑑） 【技】篆刻に基づく効果的な表現、篆刻の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:篆刻の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・篆刻の価値とその根拠について考え、篆刻のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:主体的に篆刻の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に篆刻の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート
	仮名の書	・散らし書き ・平仮名・変体仮名・連綿 ・仮名の代表的な古典の臨書および鑑賞 「寸松庵色紙」	a:【知】仮名の書を構成する様々な要素、仮名の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりついて理解している。 ・仮名の書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。（鑑） 【技】仮名の書の古典に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等の全体の構成の技能を身に付けている。 b:仮名の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・仮名の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート

			・主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）			
3学期	漢字仮名交じりの書	・テーマを考え、テーマに沿った言葉を選び、イメージを表現する（3 種類） （文字は各自で決める）	a:【知】漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・漢字仮名交じりの書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と漢字仮名交じりの書の伝統と文化、漢字仮名交じりの書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。（鑑） 【技】目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:漢字仮名交じりの書の目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 ・漢字仮名交じりの書の作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c: 主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度